

亀岡市と立命館大学の連携により“セーフコミュニティに関するアンケート調査”実施！

亀岡市と立命館大学大学院政策科学研究科、都市防災研究所との連携(大学院G P / Good Practice)・協働により、地域の安心・安全に係るアンケート調査も実施(2月1日から配布、2月下旬回収期日)しています。このアンケート調査は、セーフコミュニティや地域活動に対する意識、地域における安全・安心に対する意識など43項目に関する設問により地域の主観的な安全・安心に対する意識などについて、亀岡市全戸に対して実施するものです。

この調査をもとに、地域の安全・安心に対する不安は、どんなものなのか? どういったことに起因するのか?などを分析し、地域が主体で、独自に取り組む施策を検討し、それをモデル地区の篠町で実施し、市域全域に広めていこうとするものです。

また、もう一つの大きな狙いとして、セーフコミュニティの全世帯への周知があります。アンケートに回答していただけても、「セーフコミュニティ」と大きく記載された封筒が全戸に配布されるわけですから、その広報効果は大きなものです。

併せて、アンケート調査の実施に当たり、全自治会長に協力依頼をし、重ねてセーフコミュニティの推進についても理解が深められたと考えており、このアンケート調査の実施により、亀岡市の取組が大きく前進するものと考えています。

アンケート調査用紙は下記のホームページに掲載しておりますので、参考としてください。

京都府セーフコミュニティホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/k-san/safecom/index>

取組紹介 子ども安全見守り隊 活動！

子ども安全見守り隊の活動状況を取材に行こうと、亀岡小学校の周辺に行ってみました。その日は、雪のぱらつく非常に寒い日でしたが、子ども達の下校時間の2時50分頃になると、オレンジ色のジャンパーを着用された見守り隊の方々が、ぼつりぼつりと通学路沿いに出てこられました。

子ども安全見守り隊は、小学校の登下校時の子どもを交通事故や犯罪から守るため、地域の人達が通学路沿いに立って子ども達を見守る活動です。地域の人達は、仕事や家事の合間に、沿道に社会福祉協議会から提供されたジャンパーを着用され、毎日、子ども達の登下校を見守っておられます。

「お帰り！」見守り隊の方々が子ども達に声をかけると、子ども達は、大きな声で「見守りありがとうございます！」とお礼を言っていました。その光景を見ていると、この活動は、子ども安全を守るためだけでなく、大人と子どもの信頼関係や絆を築くにも、大きく役立っているなあと感じました。

見守り隊の方に話を聞いてみると、「子どもを守る地域活動ということで協力している。こんな時間帯なので、自営業や専業主婦の方が中心」ということ。

また、この地区の方々は写真のような、「WHOセーフコミュニティ」と印刷されたベストを着用されていて、どうしたのかと聞いてみると、「自治会から配付された。」とのことで、「セーフコミュニティってご存じですか」と尋ねると首を傾げておられました(苦笑)。PRしようかなと思ったら、子ども達が大量やってきたので、残念ながら引き下がってまいりました。それでも、着実に地域の活動が広まっているなあということを実感してきました。

